

# ふじざくら



男女共同参画推進  
リーダー研修会(5月30日)



男女共同参画推進事業者等表彰(6月6日)



男女共同参画審議会スタート(5月13日)

## 目次

男女共同参画審議会審議会 .....	2
男女共同推進月間 .....	2
男女共同参画推進事業者等表彰 .....	2
やまなし男と女とのフォーラム .....	3
男女共同参画推進リーダー委嘱 .....	4
チャレンジインタビュー .....	5
我がまちの男女共同参画 .....	6
ぴゅあ情報 .....	8



# 第4期男女共同参画審議会がスタートしました!

5月13日、第4期男女共同参画審議会委員を委嘱し、会長に丸茂紀彦委員、会長代理に飯窪さかえ委員が選出されました。今後、男女共同参画計画や男女共同参画の推進に関する重要事項について調査審議等を行っていきます。

(任期：平成20年5月13日～平成22年5月12日)(五十音順、敬称略)

飯窪さかえ	県女性団体協議会会長	萩原 雄二	連合山梨副会長
石原ひろ美	農業	深澤紗世子	県中小企業団体中央会女性部会長
小澤貴美江	笛吹市農業委員会委員	藤谷 秀	山梨県立大学教授
久保田範子	甲斐市ヒューマンプラン推進委員会委員	星合 深妃	NPO法人
坂本 等	農業		「Happy Space ゆうゆうゆう」代表
桜林 俊一	県公立小中学校長会会長	丸茂 紀彦	甲府商工会議所相談役・常議員
信田 恵三	弁護士	渡邊 節子	富士河口湖町男女共同参画推進委員会
鳥養 映子	山梨大学大学院教授		委員長

## 男女共同参画推進月間

県では、男女共同参画推進条例により、毎年6月を「男女共同参画推進月間」と定めています。県民の皆様にも男女共同参画についての関心と理解を深めていただくための様々な取り組みを行いました。

### 街頭キャンペーン

6月2日、甲府駅前において街頭キャンペーンを行い、啓発パンフレット「バランスとれていますか」などを配布しました。(▶パンフレットの詳細は、7頁をご覧ください。)

### やまなし男と女とのフォーラム

## 今を生きる男と女 新たなライフスタイルへ

6月6日、山梨県立文学館において、開催しました!

### パフォーマンス ~僕も私もいっぱし家族~

中央市男女共同参画委員会のパフォーマンスによる男女共同参画の啓発活動を紹介しました。

### 男女共同参画推進事業者等表彰

県では、男女共同参画を推進する活動に積極的に取り組んでいる個人や事業者等を表彰しています。今年度は、次の方々が表彰されました。



#### 県民表彰

石川佐恵子さん(南アルプス市)

奥秋くに子さん(都留市)

小野美野里さん(甲府市)

樋口 高子さん(増穂町)

矢崎千代子さん(甲州市)

山崎 芳包さん(大月市)

#### 事業者表彰

株式会社ネオシステム

都留信用組合

#### 女性のチャレンジ表彰

南アルプス特産品企業組合・ほたるみ館

(五十音順)

# 『働く・育てる・暮らす』 ～ワーク・ライフ・バランスのすすめ～

講師：勝間和代さん

パフォーマンス、表彰後には、現在、経済評論家・公認会計士として活躍し、数々の著作をお持ちの勝間和代さんが講演されました。仕事と生活が調和する社会を目指してどうすればいいのか、私たちにできることは何か。証券アナリスト、経営コンサルタントとしてフルタイム勤務をしていたこともあり、3人のお子さんの母親として、また、女性の多様な働き方を応援するウェブサイト「ムギ畑」の主宰者としての経験を踏まえた、説得力のあるお話を聞くことができました。

この講演が、「仕事と生活の調和」について、一人一人考えるきっかけになればと思います。

## 講演から

### 少子化 - 企業・行政の課題

少子高齢化が進み、2050年には人口は1億人程度になるといわれています。少しでも人口が増え続ける社会にするにはどうしたらいいのか。女性の進出を促すことです。男女両方からすべての人材を雇用できる国と、男性しか雇用できない国だと、人材に対する自由度が全然違います。

女性の活用だけでなく、多様性の活用に気づいた企業が、今後生き残り、業績アップする確率が高いということになります。企業だけでなく、国もそうです。多様なものを受け入れて、多様な人たちが生き生きと働く社会をつくらないと国自身が滅びていきます。残念ながら、日本は多様性活用という面においては、諸外国と比べると劣っています。

私たちにとって今大切なのは、子育てに対して投資を促す仕組み、少子化対策が必要だという空気をもっともっとつくり出していくことです。それが、私たちの役割だと思いますし、私たちの子世代、孫世代に対して、ちゃんとした日本を残すための責務だと思っています。そのためには、市民が声を上げることが大事で、とにかく声を上げない限り何も変わりません。

女性が一人で子育てをするという環境は、すでに社会制度として破綻しています。女性も社会に参画するけれど、男性がもっと家庭に戻るといって社会を形成し、子育てを支援していかないとはいけません。お父さんが家でよくご飯を食べる家庭ほど、お父さんが育児や家事をよく手伝う家庭ほど、お父さんが家でお母さんとよく会話する家庭ほど、子供が生まれています。お父さんが長時間労働から抜け出し、どんどん育児や家事に参加するというのが、少子化対策の大きなカギになります。

### 女性の働く環境

保育園の延長保育、育児休暇、産休、あるいは短時間勤務、SOHOという形での在宅ワークなどの制度はありますから、頑張れば何とかあります。ところが問題は何かというと、頑張り続けると何ともならないという、働く女性に対する仕組みです。私の一つの目標というのは、働きたいと思っている人だったら、普通の努力で働き続けられる環境をつくっていくことです。必要なのは、家族の理解、会社の理解です。

少し明るい情報がありまして、最新の調査によると、93%の企業が、育児と仕事の両立支援は、業績の向上にプラスだと答えています。子供というのは私たち親を成長させますので、それまで変化に弱かったり、逆境に弱かったりした社員が、柔軟になったり、効率化したりと、いい影響を受けることが多いのです。

### 明日からできること

大切なことは、自分たちで少しずつでいいから物事を改善していくことです。一つ一つの細かいことが、私たちの少子化問題を変えたいと思います。

ワーク・ライフ・バランスについては、長時間労働の是正が必要です。長時間労働は私たちの体にとって、社会にとって非常に悪いということを前提に、いかに働かなくても同じような成果、それ以上の成果を出せるかということを経験して考えていくことです。

ゆったりと三毒（「妬むこと」「怒ること」「愚痴ること」）を取って、自分ができるところを一つ一つやっていると、今日より明日が少しずつよくなり、必ず未来がよくなります。皆さんと一緒に、子どものため、孫のため、ひ孫のために明るい社会、明るい未来をつくることができたらと考えています。



【かつま・かずよ氏】  
経済評論家（兼公認会計士）。働く女性のための情報ウェブサイト「ムギ畑」を主宰。「世界で注目したい50人の女性」に選出され、エイボン女性大賞を最年少で受賞。多くの著作を持ち、カリスマ的人気を誇る。

# 男女共同参画推進リーダーを委嘱しました！

5月30日、「男女共同参画推進リーダー」109名を委嘱しました。

男女共同参画推進リーダーは、地域の男女共同参画を推進するために、県や市町村、関係団体などと協力しながら、啓発活動等を実施し、地域の実情の把握や地域内への関連情報の提供などの活動をしていきます。「県や市町村の動きを知りたい」「団体・グループ活動の情報を提供したい」などで、男女共同参画推進リーダーと連絡をお取りになりたい場合は、お住まいの市町村の男女共同参画担当課または県男女共同参画課にお問い合わせください。

講演

## 『元気な地域を創る！』 ～男女共同参画のまちづくり～

講師：萩原 なつ子さん

委嘱式後の研修会では、立教大学教授の萩原なつ子先生が「元気な地域を創る！～男女共同参画のまちづくり～」と題して講演されました。地域の中で男女共同参画を推進する際には、先ず、地域により異なる現状や問題を認識すること、実現しそうでないと思えることでも避けずとにかく行動を起こすこと、そして推進する自分自身が、「わくわく・ドキドキ」楽しむことなど、御自身の経験や替え歌などを交え楽しくお話しくださいました。



【はぎわら・なつこ氏】

立教大学社会学部教授。専門は環境社会学、ジェンダー研究、市民活動論。広告代理店勤務、自治体管理職、大学教授、NPOセンター常務理事など様々な経験と専門知識を持つ。石和町（現笛吹市）出身。

### 「パニックゾーン」に足を踏み入れよう

私たちの周りには、コンフォートゾーンとパニックゾーンとグロースゾーンがあります。「コンフォートゾーン」というのは、このままでいい、このまま何ももしないでもいい、そういう場所のことです。何も変化が起こりませんが成長もありません。「パニックゾーン」というのは挑戦するということです。挑戦すると人はパニックになります。でもパニックを経験することによってこそ成長がある、そこに変化が起き成長するということです。

知らないものに対してはやはり不安です。だけど予測できないものに向かってチャレンジしていくということ、これがとても大事なことだと思います。「向かっていく。やってみる。とにかく行動する。」これによって何かが動きます。風が吹きます。

### NPP（ノン・プロフィット・パーソン）になりませんか

「ノン・プロフィット・パーソン」とは「儲けにもならないことをする人」の意味です。男女共同参画を進めるときもそうですが、最初は一人です。「個」から始まります。「一人でやったってダメよ」じゃなくて、すべては一人からしか始まりません。その人の気持ちからしか始まりません。そして、「そうだよね」と

思う人がだんだん集まってきて、ノン・プロフィット・グループになっていきます。それを継続的にやっていき、だんだん、ノン・プロフィット・オーガニゼーション、「NPO」になります。最初はみんなNPPです。皆さんNPPになりましょう。

### 「ネットワークキング」= 結ぶ力。そして地域を見つめること

人と人をコーディネートする力、それを持つのが皆さんです。常に自分だけ動くのではなく、これはあの人、このことならこの人と、周りの人の力を見い出し、必要なときに、その人と人とをちゃんと結んであげる、それが「ネットワークキング」です。

「結ぶ」ということは、後で紐解くということでもあります。自分の仲の良い友達の持っているネットワークは大体一緒で、考え方も一緒の人が多いのです。ですからそこには変化は生まれません。だから初めて会った人と「こんなことをやっているんです。」と話したり、「こんな人はいませんか。」と聞いてみたりすると、そこから新しいものが生まれます。あまり関係が強いと情報が狭く、広がらないということもあるのです。

「ネットワークキング」のためには、きょろきょろしていなければいけません。何かの力を持っている人、一生懸命やっている人、面白い発想を持っている人、そういう人たちを結びつけていくのです。近過ぎて見ていないのが身近な環境、皆さんの地域です。地域であり、家庭であり、自分自身かもしれません。余りに身近すぎて見ていません。見つめてみてください、自分の地域の良さを。自分の地域にはどんな人が居るだろうか。見つめ続けていると、ぼんやりしていたものがだんだん見えて参ります。身近なところの実践からすべては始まります。

# チャレンジインタビュー

Vol.42

## 【市議会議員】

### 勉強だけでなく、議員になろう！

小野鈴枝さん 市議会議員 山梨市



現在、山梨市議会議員の小野さんは、以前は夫が起業した建設会社で社員として働きながら、PTA や地域活動にも積極的に関わっていき毎日を送っていました。

様々な活動をしているなかで、市役所を何回か訪れた際に、「私たちのような女性のための窓口がほしい。」と話したところ、職員に「窓口をつくってほしいじゃなくて、女性の議員を出せばいいんだよ。」と言われたことが、強烈な記憶として残っているそうです。

平成10年、議会に女性を送り出そうという自主勉強会「リメイク・ノウソン」に応募し参加、そして、「やまなし女性県議会」にも応募し参加。これまでの社会問題についての学習から、それらに対する実際の施策を学び、また、多くの女性たちと関わったことで、新たな思いも湧き上がってきたといいます。

「私一人が学んできて意味がない。自分が学んだことを今度は地域の人と共有し、共に学び合いたい。」と地域の仲間たちが集まり学び始めます。そのような中、統一地方選挙の話題が出て、「この学習会の中から、女性が一人もいない山梨市議会に候補者を立てよう。」ということになり、それぞれの思いを話し合い、全員が一致した意見で、小野さんが立候補することになりました。

最初は反対していた家族ですが、小野さんを応援するメンバーの熱意と、「あくまで挑戦することにこそ意義がある」という小野さんの固い意思に、応援を決意してくれました。特に義父は指南役となり、メンバーだけでは気づかないような助言が多くあったそうです。

仲間たちとの学習会は「鈴の会」へと発展し、政党組織によらない手づくりの選挙活動を実践。「無我夢中だったけれど、充実して楽しかった。」と小野さんは言います。平成11年4月、小野さんは初当選を果たしました。その時、山梨市にはなんと3人の女性議員が誕生したのです。

学習会で「山梨市の活性化」「まちづくり」を取り上げたところ、現実的なアイデアがたくさん出て、「ここまで皆が考えているなんて！何かできるかもしれない。」となり、幅広く声かけをしたところ、「やまなし朝の市の会」が立ち上がりました。月に一度、山梨市駅前の夢の実広場で農産物や雑貨、陶器などを持ち寄り、朝市を開催したところ、駅前がひととき賑わいをみせました。回を重ねるごとに参加者やお客様が次第に増えていき、やがて販売だけでなく、ウォーキングやミニ講座など多彩なイベントも始まり、週末の顔となりました。平成19年10月には、メンバーの思いと利用者の願いが地域の協力につながり、常設店舗「ひとやすみ」をオープンすることができました。



「『この地の仲間とお店を持ちたい』という気持ちは、以前から持ち続けていた思い」だったという小野さんは、このコミュニティビジネスといえる場が山梨市の活性化につながってほしいと願っています。「ひとやすみ」にはレンタルスペースがあり、ミニショップを開店できます。「ここから更に起業へと発展していけば、こんなにうれしいことはない。それこそ目的とするところです。」と小野さん。「特に女性が、持てる能力に気づき、経済的に自立するきっかけとなるような新たな場をつくれたら。」と更なる展望があるといいます。

**後輩女性へのメッセージ** 先ず、思いを声に。そして、勇気を持って行動すること。常に仲間とともに楽しむ心を持ちましょう。

Vol.41以前のインタビューは、やまなし女性の応援サイト  
<http://www.pref.yamanashi.jp/challenge/interviewlist.php> でご確認ください。

# 男女共同参画

## 鯉沢町

Kajikazawa Town

鯉沢町では、男女共同参画社会へのいち早い関心の高まりを受け、平成5年に「女性プラン策定有志の会」が発足しました。その後、第4次総合計画との調整や町民意識調査の結果を反映して、平成8年度に『鯉沢町女性プラン』が完成しました。また平成13年度には、「男女共同参画」の住民への具体的普及と町づくりへ提言および反映をめざし、「鯉沢町男女共同参画まちづくり推進委員会」が発足しました。

さらに平成17年3月8日には、平成16年6月から制定に向けて取り組んだ『鯉沢町男（ひと）と女（ひと）が共に歩むまちづくり推進条例』が議会で可決され、以後女性の地位向上と男女共同参画社会の実現に向け、町・推進委員会・各種団体などが一体となって取り組んでおり、現在に至っています。

昨年度には、前プランの基本的精神を引き継ぎ、子育てやDVなどへの新たな具体的取り組みを盛り込んだ『鯉沢町女性プラン』（第2期）を策定いたしました。本年度は、推進委員の年齢も若返ることから、住民の全ての年齢層に向けて、特に女性の社会参画・男性の家庭参画が少子高齢化社会に及ぼす大きな影響について理解を促していきたいと考えています。『鯉沢町女性プラン』は

▶ <http://www.town.kajikazawa.yamanashi.jp/new/soumu/2008-0307-1536-1.html> でご覧いただけます。



## 道志村

Doshi Village

道志村は平成17年度から21年度を計画期間とした男女共同参画社会をめざして「道志いきいき女性プラン」を策定し、推進活動を行なっております。

啓発活動の一環としてぴゅあ富士出前講座を2月27日に道志村中央公民館において、講師に飯窪さかえ先生をお招きし、「進めようみんなで支えあう参画のまちづくり」と題して講演会が開催されました。

この講演は男女共同参画社会の実現のために自主的な学習や交流などの活動拠点とし女性の自立と社会参画の輪を広げ、男女共同参画の地域づくりを推進するために行われ100名ほど参加があり時代の流れと社会的問題、男女共同参画アクションプランの現状と問題点、また男女共同参画社会実現のための課題への取り組み等について講演されました。

道志村では村議会議員に初めての女性が当選、また女性教育委員を登用するなど今後は、地域や各団体と連携を深め、積極的に推進活動に取り組んでいきたいと考えています。



県内市町村の男女共同参画関連施策についてご紹介します。

身延町

Minobu Town

身延町では、平成18年に「みのぶヒューマンプラン」(基本的な計画)を策定し、併せて男女共同参画推進条例を制定しました。

これに基づき、平成19年6月には、男女共同参画推進委員15名が委嘱され、「活動」「広報・PR」「調査研究」の3つの部会に分かれて、推進活動を始めました。まず、委員自らが男女共同参画の基本的なことを学び、意識を高めていくことを念頭に、先進地域の活動を参考にしたり、ビデオや書物等の資料で学んだり、山梨大学の栗田先生からお話を聞かせていただき、「なぜ男女共同参画社会推進か」「推進委員に求められるものは何か」等、理解を深めてきました。

今年度は、各種推進事業を活発に展開しております。活動部会では住民を対象とした教室や講演会の開催や、支援活動を、広報・PR部会では「広報みのぶ」を使っての情報・広報活動を、調査研究部会では、町の事業者に向けた男女共同参画の状況に関する調査の実施等を行います。さらに、11月の身延町生涯学習フェスティバルでは、各部会の活動を集約する中で、「人々が参画し交流するひらかれたまちづくり」をめざして広報・PR活動を計画しています。

これからも、地域の実情に合わせ、男女共同参画をより一層進めるため、できることから取り組み、新しい時代を見ずえた社会づくり(まちづくり)を推進していきます。



啓発パンフレットをご利用ください。



“ワーク・ライフ・バランス”  
仕事と生活の調和とは？

誰もが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、様々な活動を自分の希望するバランスで実現できる状態のことです。

パンフレットのお問い合わせは...県男女共同参画課(TEL055-223-1358)まで

# ぴゅあ情報 今後のおすすめ情報

▶どなたでも参加できます！詳細については、各施設へお問い合わせください。

## チャレンジ支援講座（3館合同）

7月1日（火）～7月4日（金） 10：00～ 「仕事で使えるパソコン4日間集中講座」  
7月8日（火） 10：00～ 「うまい就職活動の実際」  
13：00～ 「ロールモデルに学ぶ」

## ぴゅあフェスタ2008（予定）

ぴゅあ総合 9月27日（土）～9月28日（日）  
ぴゅあ峡南 11月15日（土）  
ぴゅあ富士 10月18日（土）～10月19日（日）

ワークショップやパフォーマンス、バザーや団体活動発表など、それぞれの施設で計画しています！

### ぴゅあ総合

あなたの力になります パート2  
7月21日（月）13：30～  
「シェルターから見えるDVの実状」  
講師：阿部裕子さん  
（かながわ女のスペースみずら事務局長）  
第一印象をよくする表情を手に入れよう  
7月12日（土）10：00～  
知ってるけ？話し方で広がる世界  
7月19日（土）10：00～  
男の料理教室  
7月26日（土）9：30～

### ぴゅあ峡南

パパとチャレンジクッキング！  
8月10日（日）10：00～  
8月23日（土）10：00～  
親子木工教室  
8月3日（日）9：30～

### ぴゅあ富士

パパ・ママキッチン&ちょっとイイはなし  
7月26日（土）10：00～  
心と体を動かす3B体操体験  
7月9日（水）・16日（水）・23日（水）  
いずれも10：00～



男女共同参画を積極的に推進している・推進しようとする企業の皆さんの応募をお待ちしています！

詳細は、県男女共同参画課ホームページでご確認ください。

▶ <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/danjo/>

編集・発行

## 山梨県男女共同参画課

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 Tel. 055-223-1358 E-mail : danjo@pref.yamanashi.lg.jp

## 山梨県立男女共同参画推進センター

ぴゅあ総合：〒400-0862 甲府市朝気1-2-2 Tel. 055-235-4171

ぴゅあ峡南：〒409-2305 南巨摩郡南部町内船9353-2 Tel. 0556-64-4777

ぴゅあ富士：〒402-0052 都留市中央3-9-3 Tel. 0554-45-1666